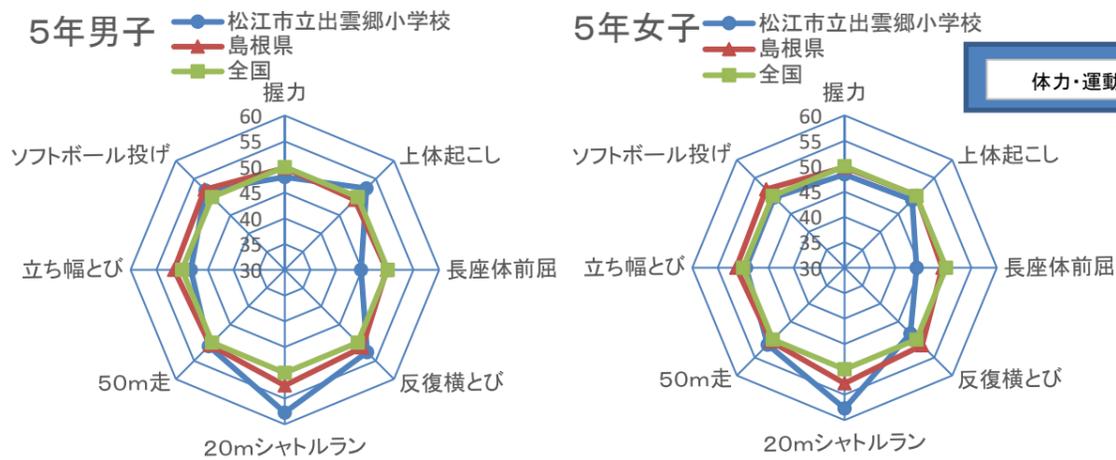


(1) 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)

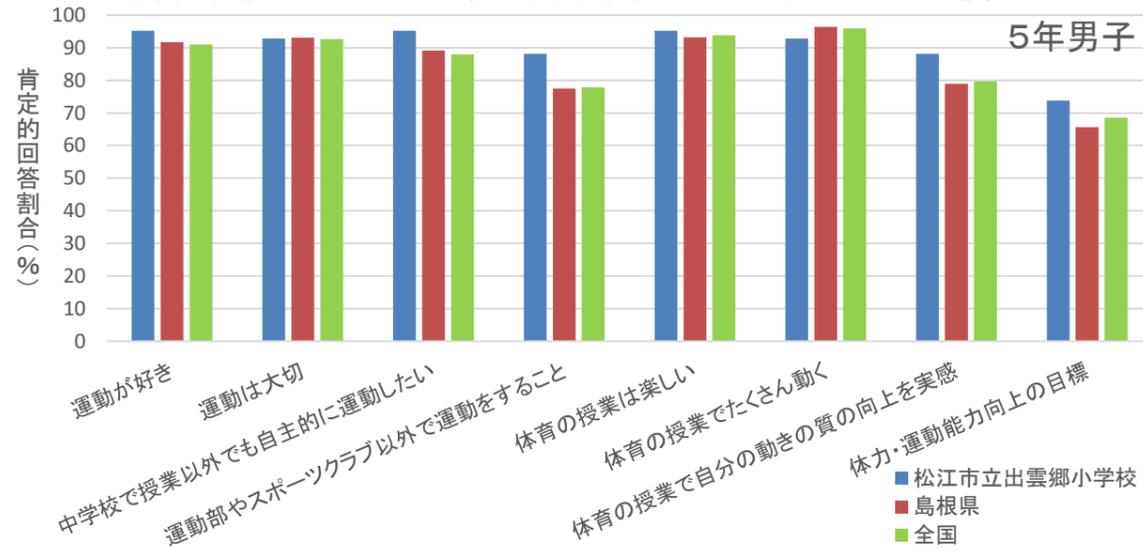


(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面

| 強み |
|---|
| ○男子では「20mシャトルラン」「反復横跳び」「上体起こし」が全国平均を上回っている。特に「持久力」「敏捷性」「筋持久力」が強み。 ○女子では「20mシャトルラン」「50m走」が全国平均を上回っている。特に「持久力」「スピード」が強み。 |
| 課題 |
| ●男子では「長座体前屈」「握力」「立ち幅跳び」が全国平均を下回り、特に「柔軟性」「筋力」「筋パワー」が課題。 ●女子では「長座体前屈」「反復横跳び」において全国平均を下回り、特に「柔軟性」「敏捷性」が課題。 |
| 次年度の対策 |
| ○体育授業の前半部に柔軟性を高める運動を継続的に取り入れる。 ○体づくり運動や陸上運動の授業の中心に体の動かし方(動きのコツ)を意識した指導を行う。 |

全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査<意識調査>の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



② 意識面

| 強み |
|--|
| ○男子では「運動が好き」など、全体的に運動に対する肯定的な思いをもっている児童の割合が全国平均よりも高い。 ○女子では「運動が好き」など、全体的に運動に対する肯定的な思いをもっている児童の割合が全国平均よりも高い。 |
| 課題 |
| ●男子では「体育の授業でたくさん動く」の割合が全国平均よりも低い。 ●女子では「運動部やスポーツクラブ以外で運動する」の割合が全国平均よりも低い。 |
| 次年度の対策 |
| ○運動量を確保した授業設計を行う。 ○運動の楽しさを味わったり、家庭で運動をする意欲を高めたりする取組を検討、実施する。 |

(3) 令和4年度の方針【学校全体での取組】

- ① 体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
校内研究と関連付けた取組として、今年度行っている「あだかえりフレッシュ体操」(姿勢運動)を継続して行う。「あだかえりフレッシュ体操」の取組を評価し、校内全体で共有する。改善策を検討、実施する。
- ② 体育科授業の工夫・改善について
運動量の確保ができるような体育授業づくりを提案し、教職員全体で共有する。(導入時に五種目歩走を行う等)夏季休業中に体育関係部会を中心に体力調査の結果分析し、体育授業・体育的取組に反映させる。
- ③ 体育授業以外の活動の工夫について
「あだかえりフレッシュ体操」の継続的実施、評価、改善を行う。
縄跳び大会を全校で実施する。
体育委員会による「スポーツ大会」を学期に1回程度開催する。
休み時間に使用できる運動用具の充実を図り、使いやすく、片付けやすい環境づくりを行う。
- ④ 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
長期休業中の取組として、「なわとび」カード等のチャレンジカードを使用した活動を推奨する。
学校だよりや保健だよりの中で運動や健康に関するテーマを取り上げ、啓発を図る。
学園連絡会等を通して、体力や健康に関する課題を共有し、連携した取組推進を図る。

